

ユネスコ政府間海洋学委員会西太平洋地域小委員会 (WESTPAC) 副議長に国立研究開発法人海洋研究開発機構 (JAMSTEC) の安藤 健太郎 グループリーダーが選出

2017年5月31日

2017年4月21日（金）から4月23日（日）まで中国・青島で開催されたユネスコ政府間海洋学委員会（Intergovernmental Oceanographic Commission of UNESCO: UNESCO/IOC）（※1）西太平洋地域小委員会（Sub-Commission for the Western Pacific: WESTPAC）の第11回総会において役員選挙が行われ、次期WESTPAC副議長に、安藤健太郎（あんど う けんたろう）国立研究開発法人海洋研究開発機構（JAMSTEC）地球環境観測研究開発センター海洋大気戦略観測研究グループリーダーが選出されました。日本が副議長に選出されるのは、2010年の第8回WESTPAC総会で福代康夫（ふくよ やすお）東京大学教授（当時）が選出されて以来7年ぶりです。（※2）

WESTPACは、西太平洋地域における海洋の科学的調査プログラム、海洋観測、海洋データ管理・交換、途上国における能力開発・技術移転等を担う事を目的として、1989年にIOCに設立された地域補助機関（Regional Subsidiary Body）です。現在、日本やASEAN主要国を含む22カ国が加盟しており、事務局はタイ・バンコクにあります。日本は文部科学省のユネスコに対する信託基金（Japanese Funds-in-Trusts: JFIT）の活用及び専門家の派遣等により、WESTPACの活動に対して積極的に関与・貢献してきています。

安藤氏の任期は、2017年4月23日（日）から2019年上半年に予定される次回WESTPAC総会の終了までの約2年間となります。

※1 UNESCO/IOCは、世界海洋の科学的調査、海洋観測、海洋情報・データの国際的な交換、津波早期警報システム、海洋科学に関する開発途上国に対する能力開発・技術移転事業等について政府間協力や企画、調整、推進等を行う、国連における唯一の専門的機関です。ユネスコ内に機能的独立性を有する組織として1960年に設立され、IOC本部はフランス・パリのユネスコ本部内に設置されています。現在、148か国が参加しています。

[UNESCO/IOCホームページ](#)

※2 過去の日本人WESTPAC議長、副議長

- ・根本 敬久（東京大学海洋研究所教授（当時）、初代議長、1990年逝去）
- ・平 啓介（東京大学海洋研究所教授（当時）、第3代、4代議長）
- ・浅井 富雄（東京大学海洋研究所教授（当時）、第2代副議長）
- ・福代 康夫（東京大学教授（当時）、第7代、8代副議長）

